

**スポーツツーリズムコンテンツ創出事業
サイクリングで荒川水系を巡るアウトドアスポーツの
滞在型コンテンツ造成・実証事業
成果報告発表会
＜プレゼンテーション資料＞**



株式会社おいでなせえ

スポーツツーリズムコンテンツ創出事業 実施概要【株式会社おいでなせえ】

実証テーマ： サイクリングで荒川水系を巡るアウトドアスポーツの滞在型コンテンツ造成・実証事業
概要： 地域コーディネーターを軸にしたアウトドアスポーツに競技性を掛け合わせた滞在型のコンテンツ造成

現状認識・ターゲット	課題	解決に資する取組	ターゲット
	(1)低単価・低収益による単発的なコンテンツの実施	(1)-①スポーツへと昇華させた観光コンテンツによる価値向上	欧州のインバウンド (20～30代・中間層・小グループ)
	(2)日帰り来訪客による限定的な経済インパクト	(1)-②スポーツ化した観光コンテンツの持続的な提供	台湾のインバウンド (30～40代・中間層・個人旅行者)
	(3)限定的な旅行事業者とのパイプ	(1)-③洗練された地域コーディネーターの育成	小川町近隣市町村在住者 (40～50代・中間層・ファミリー層)
	(4)地域コーディネーターの人材不足	(2)-④複数コースを組み合わせた滞在型プランの造成	
		(2)-⑤ジオ・マークのデジタル観光マップによる滞在誘因	
		(3)-⑥PRツールの作成による旅行事業者等への情報発信	
		(3)-⑦旅行事業者等への営業	
		(3)-⑧2024台北国際旅行博への出展	
		(4)-⑨地域おこし協力隊・アウトドア事業者への参画依頼	

3つの軸	地域コーディネーターによる看板商品造成	スポーツ×デジタルマップによる体験価値の向上	プロモーションによる地域ブランディング
	地域の人脈・産業に精通するコーディネーターを軸にし、DMCや国内外の販路を持つ旅行会社と連携し、ニーズにあった地域にどっぷり入ることのできるツアーの造成	自転車の移動そのものを価値と捉え、マップがあることで体験価値の向上、数値化による競技性の追加などスポーツと地域観光の新たな価値の創造	地域コーディネーターが造成した商品、その人柄が出るコンテンツブックや動画の制作、地域で活動する人にフォーカスし、ターゲットに合わせたPRの実施

コース案など	コースタイトル	1300年の歴史を巡る日本茶アクティビティツアー	<div>ウェアラブル端末でカロリー計測</div> × <div>記録を競う「競技性」追加</div> = <div>健康を促進し、オリジナリティある価値の創出</div>
	ターゲット	欧州の30～40代の知識人層	
	ストーリー	500年ぶりに復活した銘茶「慈光茶」と豊かな清流を堪能するリトリート	
	コースタイトル	食のありがたみを知るファミリーサイクリングツアー	
	ターゲット	小川町近隣市町村在住の日本人のファミリー層	
	ストーリー	オーガニックの里で日本の暮らしと生活を知る	

※左記含め計5コース作成し、モニターで実施

目指す姿

- 旅行事業者と共同で造成したコンテンツ・コース造成によるターゲットの獲得
- スポーツ×観光×ウェルネスで選ばれる地域、そして滞在の創出

地域コーディネーターの定義

■ 現状・課題：

訪日外国人による観光を目的とした来訪が増えており、これからも増加の一途が予想されるほか、関係人口や第2のふるさとなど農山漁村地域へのニーズが高まっている。それらのニーズに対応すべく、各地域では体験プログラムの開発が進められているが、顧客からの問合せに適切に対応し、**地域内で調整するなどのコーディネート業務やお客様をガイドするなどのサービスが提供できる中核的な役割を担う人材が不足**している。

項目	内容
目的	上述した課題に対応できるような人材を育成することで、お客様にとって、通常の観光とは違い、地域をより深く知ることができるほか、コーディネーターにとっては、コーディネート・ガイドの役割を担うことで、収入を得ることができるほか、多様なお客様と繋がることで、新たなビジネスチャンスの創出が期待できる。また他地域の旅行会社にとって 一見では手配が 出来ない付加価値の高い体験コンテンツを地域コーディネーターの育成 を通して、商品の差別化を図る。
求める役割と活動イメージ	<ul style="list-style-type: none">顧客からの依頼に対して、地域内の事業者と連携・調整して、そのニーズを満たすようなコンテンツ(ツアーの行程作成、体験プログラムの開発)を造成する。ツアーや体験プログラム実施時に、ガイド役として、お客様に満足してもらえるようなサービスを提供する。
将来像	<ul style="list-style-type: none">各地域コーディネーターという「人」をプロモーションをすることで、その「人」のファン作りをする。そうすることで、一過性に終わらない、繰り返し来訪してもらえる仕組みを作る。

地域コーディネーター育成研修の概要

■ **目的**：コンテンツの発掘から造成、そしてツアー実施・ガイドができる人材を育成するために実施する。座学ではそれらに必要な知識が体系的に学べるよう専門家を招くほか、ワークショップでは地域コーディネーターと旅行事業者が共同で考えることで、旅行事業者が販売したい商品をその場で造成し、販売へと繋げる。

■ **参集者**：地域コーディネーター候補者（キャンプ民泊経営、地域おこし協力隊、フリーライター等）、旅行事業者(インバウンド事業者等)

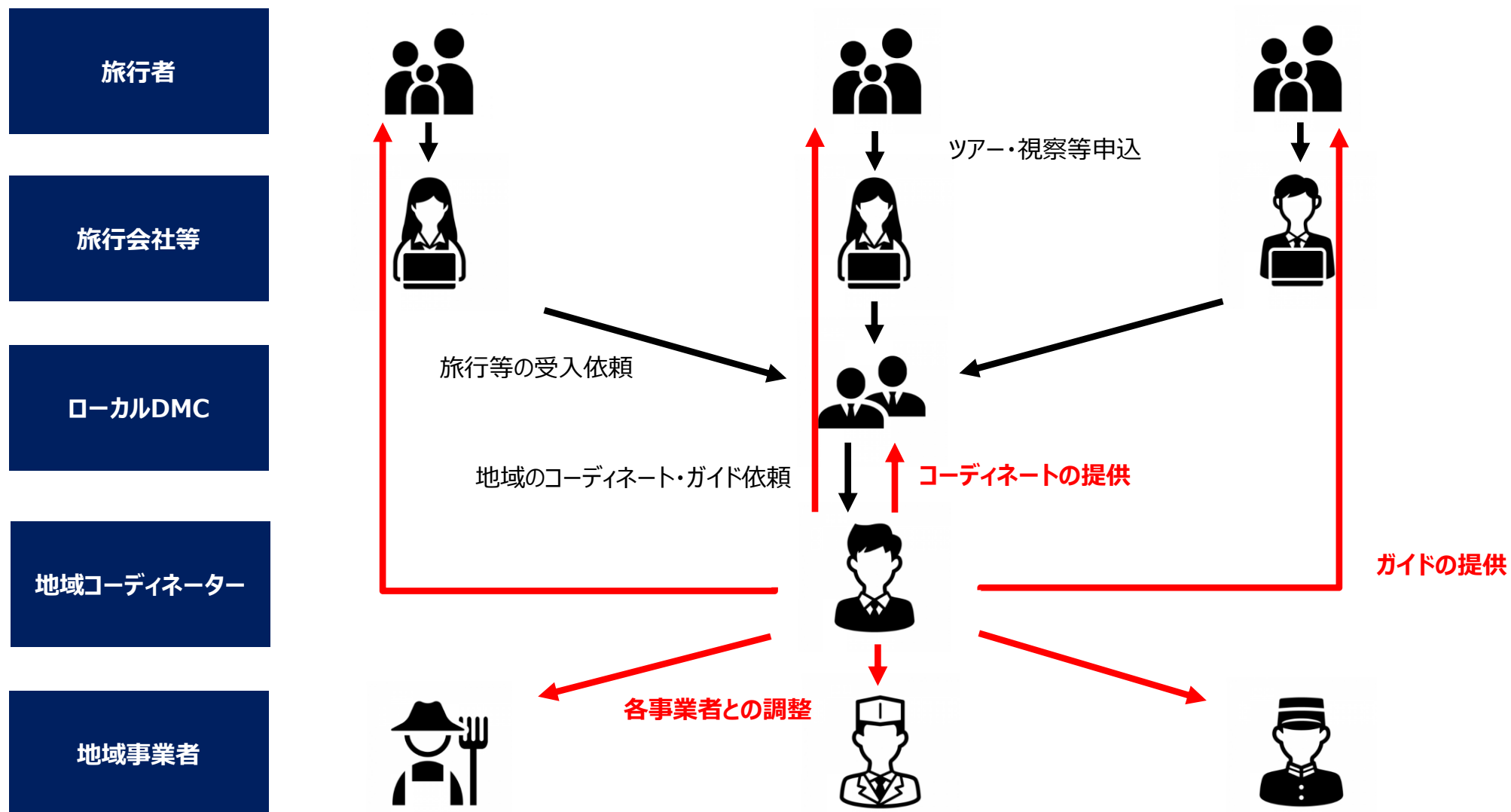
■ **プログラム**：全4回(内容は以下の通り)

■ **ゴール**：モデルコースを1人1本造成(造成したモデルコースはモニターツアーで実施)

地域コーディネーターとしての基礎習得(コース造成・手配・ガイドの一連の業務が独力で完遂できる)

回数	主な目的	座学	ワークショップ	実施時期
1回目	ATの市場とインバウンドが日本の農山漁村地域に求めているニーズ等を解説し、当事業で実施する内容の理解を深める。	アドベンチャーツーリズム概論 (講師：scratch 倉知氏) 【実施日数：0.5日】	5コースの内容検討・ブラッシュアップ 【実施日数：1.5日】	8/15-16
2回目	サイクルツーリズムで期待できる地域への波及効果等を解説するほか、実地踏査を通じて、コースの仮完成を目指す。	サイクリングガイドの育成 (講師：GRAV BICYCLE 小口氏) 【実施日数：2日】	5コースの実地踏査 【実施日数：1日】	9/11-13
それ以降は個別にコース等を調整し、モニターツアーを実施				
3回目	世界的トレンドになっている環境保全×ツーリズムを知ること、モデルコースのクオリティ向上を目指す。	環境に配慮したコンテンツ造成 (講師：リーブノートレイスジャパン) 【実施日数：2日】	途中経過の報告・ブラッシュアップ 【実施日数：1日】	11/19-21
全モニターツアー終了後、振り返りも含めた研修を実施				
4回目	モニターツアーの振り返りを行い、ブラッシュアップを図るほか、次年度に向けた販売体制・スキームの構築を図る。	地域コーディネーター同士によるモニターツアーの報告会 (講師：全国農協観光協会 川島氏) 【実施日数：0.5日】	振り返り・次年度の展開検討 【実施日数：0.5日】	2/4

地域コーディネーターの業務内容



地域コーディネーター育成研修の実施画像

1回目



アドベンチャーツーリズム概論



令和6年8月15日
Scratch株式会社
代表取締役 倉知孝一



2回目

9/11-12@小川町 サイクリングガイド講習会 (1日目)	
10:05-10:20	自己紹介&アイスブレイク (15分)
10:20-10:50	「求められるサイクリングガイドの資質」 (30分) ➢ 技術、体力、スキル、資格 ➢ ホスピタリティ資質 ➢ ガイディング実践 (インナープリゼンテーション、ストーリーテリング)
11:00-11:30	「リスクマネジメント基礎 (交通安全等)」 (30分) ➢ 集団走行におけるリスクアセスメント ➢ 保険、旅行業法、事前準備 (機材、天候判断)
11:30-12:00	ガイド事前心得 (30分) ➢ トラブルシューティング (野外救命基礎) ➢ ガイドが持つべき装備紹介・知識
12:00-13:00	ランチタイム (60分)
13:00-14:30	実践ライディング講習 (90分) ➢ 走行技術 (ハンドサイン、後方確認) (集団走行・リードガイドとテールガイドの役割)
14:40-15:20	ブリーフィング講習 (40分) ➢ 設備確認 ➢ 行程説明 ➢ 注意事項、リスクアナウンス
15:20-16:50	メカニカルスキルアップ講習 (90分) ➢ メンテナンス ➢ バンク停機実践
16:50-17:00	フィードバック (質疑応答) (10分)



3回目

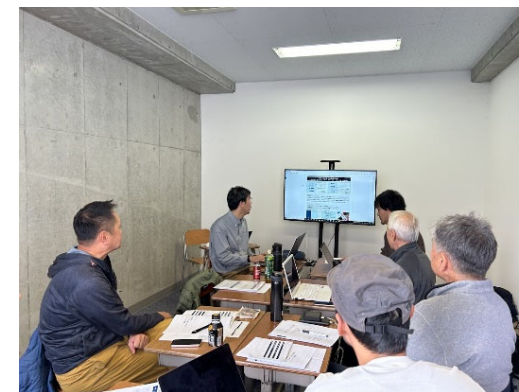
Leave No Trace アウェアネスコース実践例の紹介

ひの社会教育センター ひの自然学校 若泉 将貴



4回目

時間	内容
11:00	研修開始
11:00~11:30	モニターツアー振り返り(青木様) ※説明20分+質疑応答10分
11:30~12:00	モニターツアー振り返り(ジョーンズ様)
12:00~13:00	昼食休憩
13:00~13:30	モニターツアー振り返り(泉地様)
13:30~14:50	モデルコースの磨き上げ・完成
14:50~15:30	コーディネーターから発表(完成版)
15:30~16:00	今年度の振り返り・次年度の展開案
16:00	研修終了



KPIに関して

No,	目標	実施内容	結果
①	定量的目標	10コンテンツ以上の造成	地域コーディネーターによる1泊2日のツアー造成を5本行った。 1名につき2本以上の体験コンテンツ造成（アドベンチャートラベル定義におけるツアーテーマの価値を高めるコンテンツ（地域住民との交流、農作業体験など））を行い、合計10本以上となった。 なお各社協議により10コンテンツを内包するセールスシートの作成を行い、B2B向けに営業可能な体制を整備を行った
②	定量的目標	旅行会社からの見積数件数	国内DMC（大手、AT事業者）、海外エージェント（欧州、台湾）への見積件数は10本以上セールスシートの送付を行った。 また、地域単独での募集が難しいとの課題から運営チームにおいて東京、埼玉と組み合わせたモデルツアーの造成を行った。
③	定量的目標	商品販売実績2件以上	現在国内DMC1社、海外エージェント3社（欧州2社、台湾1社）とのツアー造成に向け企画設計を行っている。最短で6月ごろの募集型企画旅行として企画制作を進めている。 なお単独募集では難しい為、運営チームにて募集・手配・旅程管理等で安定したサービスを図れる運営体制としている
④	定量的目標	地域コーディネーター育成5名以上	合計4回研修を実施、地域コーディネーター5名の育成を行った。 また、各地域コーディネーターとも催行可能なレベルに達しており、次年度はプロモーションに注力する必要がある。
⑤	定性的目標	コンテンツ・ツアー満足度80%以上	平均80%以上となった。モニターツアーの結果、当事業のコンテンツとしてニーズに満たしていることが分かった。また今後はストーリーを深めること（知識量の習得）、英語によるストーリー自体の伝え方（ガイディング）が課題となっており、運営チーム内において知識の研鑽を図れる場づくりを行う必要がある。

地域コーディネーター造成したツアー

The Sake & Fan Ride Tour			
～「小川町」のテロワールをローカルライダーとともに走って体感～			
催行日時	令和6年10月17日(木) ～10月18日(金)	集合時間	09:45
集合場所	JR八高線 明覚駅	体験内容	サイクリング、カヌー
催行事業者	株式会社おいでなせえ	連絡先	090-8289-8163(梅原)
体験難易度	3.0:☆☆★★★ (Moderate/中級程度)	走行距離	1日目:約18km(獲得標高220m) 2日目:約28km(獲得標高340m)

CONCEPT | コンセプト

埼玉県比企地域は荒川支流の一つであるものの、水量が豊富な大川がないため、農業用水を天水に依存する「農業用ため池(谷津沼農業システム)」や貴重な水資源を活かした酒造りなど地形を活かした独自の産業・生活の文化として発展を遂げてきました。このツアーでは、その特異な文化・生活、人々の暮らしを深く体験するため、地域で活躍する方との交流、食体験、アクティビティなど小川町在住のローカルライダーとともに日本のローカスポットを旅します。

HIGHLIGHT | ハイライト

- ① 貴重な水源によって育まれた日本酒、和紙、有機野菜など五感を使った各種体験
- ② 地域を知り尽くしているローカルライダーとの地元ならではの道とディープスポットを巡る
- ③ 水を深く知るための「Waterスタンプラリー」のゲーム要素を追加

プラン 行程	10月17日	09:45	明覚駅集合 ツアーイントロダクション
		10:20	とうふ工房わたなべ、ホームーズ珈琲
		11:15	松郷峠へのチャレンジ
		11:45	シェフ解説付きコース料理(松風庵) 和紙ラベル貼り体験
		14:00	晴雲酒造 酒蔵見学
		15:30	おがわ温泉花和楽の湯 (休館中の為、場所変更の場合有)
		18:00	民宿つき宿泊 & 有機野菜を使った調理体験
	10月18日	09:00	軽食後、出発
		09:30	晴雲酒造 酒蔵見学(1日目と別)
		10:00	武蔵ワイナリー ぶどうジュース&パン
		11:30	高柳屋うどんにて昼食
		12:30	ときがわカヌー工房(カヌー体験)
		13:45	Tea House Bell (紅茶の畑見学)
		15:10	明覚駅到着、意見交換会(1時間)



※スケジュールは目安です。
天候等により変更になる場合があります

コラム

【比企サイクリングツアーレポートvol.1】 The Sake & Fan Ride Tour | 「小川町」のテロワールをローカルライダーと走って体感

2025.01.27 / 最終更新日: 2025.01.31



概要	
人数	合計5名 (ツアーリーダー、運営班含まない)
内訳	旅行会社: 2名 埼玉県庁: 1名 在日外国人(ドイツ人): 1名 スポーツ庁事務局: 1名
ウェアラブル 数値	データ取得人数: 3名 速度: 平均18km カロリー消費: 550kcal (1日平均) 心拍数: 135bpm

地域コーディネーター造成したツアー

埼玉県比企地域サイクリング&ハイキングツアー

催行日時	令和6年10月24日(木) ～10月25日(金)	集合時間	09:15
集合場所	東武東上線 武蔵嵐山駅西口	体験内容	サイクリング、ハイキング
催行事業者	株式会社おいでなせえ	連絡先	090-8289-8163(梅原)
体験難易度	2.5:☆☆☆☆ (Moderate/初～中級程度)	補足	1日目:約21km(獲得標高280m) 2日目:約15km(獲得標高120m)

CONCEPT | コンセプト

埼玉県比企地域は日本の歴史において、武蔵国の一部として軍事や行政の要所として重要な役割を果たしてきました。当地域では様々な歴史の変遷による独自の産業、生活の一部として和紙、伝統的な農法による農業、水を活かした酒文化など独自の文化として発展を遂げてきました。

このツアーでは、その特異なカルチャーや歴史をより深く体験するため、歴史ガイド、地域の方との交流、食体験やサイクリング&ハイキングのアクティビティを通じて日本のローカルを楽しみます。

HIGHLIGHT | ハイライト

- ① 日本を城跡とヨーロッパの城の違いを知ることができる特別ガイド
- ② 900年続く比企歴史の道を辿り、里山を感じる丘陵地帯を巡るサイクリング&ハイキング
- ③ 国指定文化財の葉巻き屋根「吉田家住宅」で日本古来を感じる餅つき体験

プラン 行程	10月24日	09:15	武蔵嵐山駅集合 ツアーイントロダクション
		09:30	嵐山史跡博物館
		11:00	杉山城跡散策、普光寺参拝
		13:15	「食堂わらしべ」にて有機野菜ランチ
		14:00	小京都「小川町」散策
		15:00	吉田家住宅にて「餅つき体験」
		17:00	「和膳処むすび」にて精進料理夕食
		18:30	小川げんきプラザ宿泊&懇親会
	10月25日	09:00	朝食後、出発
		09:30	官ノ倉山ハイキング(約2時間半)
		12:30	洋食屋八間屋にて昼食
		13:30	東秩父和紙の里
		14:30	晴雲酒造にて見学・試飲
		15:15	小川町駅到着、意見交換会(1時間)



※ スケジュールは目安です。天候等により変更になる場合があります

コラム

【比企サイクリングツアーレポートvol.2】埼玉県比企地域サイクリング&ハイキングツアー

2025.01.31 / 最終更新日: 2025.02.03



概要	
人数	合計5名 (ツアーリーダー、運営班含まない)
内訳	旅行会社: 2名 埼玉県庁: 1名 在日外国人(ドイツ人): 1名 埼玉県小川町地域おこし協力隊: 1名
ウェアラブル 数値	データ取得人数: 3名 速度: 平均16km カロリー消費: 600kcl (1日平均) 心拍数: 123bpm

地域コーディネーター造成したツアー

Satoyama Escape ～ The Craftsman's Journey ～			
催行日時	令和6年11月25日(月) ～ 11月26日(火)	集合時間	11:10
集合場所	JR八高線 明覚駅	体験内容	サイクリング、軽ハイキング、各種体験
催行事業者	株式会社おいでなせえ	連絡先	090-8289-8163(梅原)
体験難易度	1.5:☆☆☆☆ (Moderate/初級程度)	走行距離	1日目:約6.5km(獲得標高80m) 2日目:約3.2km(獲得標高50m)

CONCEPT | コンセプト

埼玉県比企地域にある町の1つ、ときがわ町。この町では1300年もの歴史ある慈光寺を発祥とする地域に根ざした産業や文化が脈々と受け継がれてきました。ユネスコ無形文化遺産に登録される細川和紙や、関東地域有数の生産量を誇る建具など、地域が誇る伝統工芸が今でも息づいています。このツアーでは、里山の自然をサイクリングで巡りながら、参加者自ら地域の手仕事体験を通し、伝統工芸を引き継ぐクラフトマンとの出会いと交流を楽しむことができます。

HIGHLIGHT | ハイライト

- ① 1300年もの歴史ある慈光寺を発祥とする「里山の手仕事」にスポットを当て、参加者自らクラフトマンシップを楽しむ
- ② 日本古来の産業・文化を体験しながら、里山に住む人々との交流を楽しみます
- ③ 日本人の根源とも呼べる人と自然が織りなす里山の暮らしを体験が可能

プラン行程	11月25日	11:10	明覚駅集合 ツアーイントロダクション	
		12:00	NONIWA (エリアストーリー紹介)	
		12:30	キッチンカー 地元食材のおにぎり弁当	
		13:30	ホリコシ製作所(お箸作り体験)	
		15:00	日本の四季を集める里山ライド	
		16:30	手漉き和紙体験(たのこ) (手漉き和紙体験)	
		18:30	四季彩館(夕食&温泉)	
	11月26日	20:30	キャンプ民泊NONIWAにて焚火体験 同施設にて就寝	
		07:30	ホットサンドとコーヒー	
		09:00	ハンモックハイキング体験	
		11:30	手打ちうどん体験(NONIWA)	
		14:00	障子張り体験(建具会館)	
		16:30	意見交換会	
		18:30	明覚駅送迎後、解散	

※スケジュールは目安です。
天候等により変更になる場合があります

コラム

【比企サイクリングツアーレポートvol.4】 Satoyama Escape ～ The Craftsman's Journey ～
2025.02.06 / 最終更新日: 2025.02.06



概要	
人数	合計6名 (ツアーリーダー、運営班含まない)
内訳	旅行会社: 2名 埼玉県庁: 1名 埼玉県物産観光協会 (DMO): 1名 インバウンドガイド (ニュージーランド人): 1名 スポーツ庁有識者 (中川様): 1名
ウェアラブル 数値	データ取得人数: 3名 速度: 平均15km カロリー消費: 220kcal (1日平均) 心拍数: 112bpm

地域コーディネーター造成したツアー

平野から里山へ 自転車で『比企丘陵』の人と食に出会う旅
～ 2 DAYS around The HIKI plains ～

催行日時	令和6年12月5日(木) ～ 12月6日(金)	集合時間	09:30
集合場所	東武東上線 高坂駅東口	体験内容	サイクリング、各種体験
催行事業者	株式会社おいでなせえ	連絡先	090-8289-8163(梅原)
体験難易度	3.0:☆☆★★★ (Moderate/中級程度)	走行距離	1日目:約26km(獲得標高280m) 2日目:約18km(獲得標高230m)

CONCEPT | コンセプト
埼玉県は首都東京に隣接しているため、鉄道網や道路など交通アクセスが非常に良い場所です。また、平野部と山岳地帯が共存しており荒川と利根川という一級河川が流れているため、豊かな自然が多く広がっています。このツアーは日本の里山の風景や暮らし、特有の地域文化を味わいたいという外国人の方向けのサイクリングツアーです。「田舎の人と食に出会う旅」は都会では味わえない、人間の真の豊かさに気づく旅となることでしょう。

- HIGHLIGHT | ハイライト**
- ① 駄菓子屋で買い物や田んぼ道、冠水橋、食堂、古民家といった「これぞ日本の田舎！」という景観を味わうことができる
 - ② 有機野菜発祥の町、小川町で栽培された新鮮な有機野菜を使った料理を味わいながら、地域の人との交流を楽しむことができる
 - ③ お寺での瞑想体験や、有機野菜農家と一緒に農業体験ができる、国指定の重要文化財で団子を焼く体験など、バラエティ豊かな体験コンテンツがたくさん味わえる

プラン行程	12月05日	09:30	高坂駅集合 ツアーイントロダクション	
		10:15	ほったや (日本の駄菓子体験)	
		11:00	岩殿観音正法寺(散策&瞑想体験)	
		13:00	フクロウの森(昼食&散策)	
		15:00	MOZART(分校カフェでコーヒープレイク)	
		16:30	宿泊施設チェックイン(小川宿 湯宿)	
		18:00	有機野菜食堂「わらしべ」夕食	
	12月06日	09:30	朝食後、出発	
		10:00	旬の野菜収穫 & 野菜を味わう体験(風の丘ファーム)	
		14:00	吉田家住宅(焼き団子体験)	
		15:00	松岡醸造 酒蔵見学体験	
		16:30	小川町駅移動後、意見交流会	
		18:30	終了	

※ スケジュールは目安です。
天候等により変更になる場合があります

コラム

【比企サイクリングツアーレポートvol.3】平野から里山へ 自転車で「比企丘陵」の人と食に出会う旅～2DAYS around The HIKI plains～

2025.02.05 / 最終更新日: 2025.02.05



概要	
人数	合計6名 (ツアーリーダー、運営班含まない)
内訳	旅行会社: 5名 埼玉県庁: 1名
ウェアラブル数値	データ取得人数: 3名 速度: 平均21km カロリー消費: 655kcal (1日平均) 心拍数: 138bpm

地域コーディネーター造成したツアー

オーガニックユートピア 五感で感じる小川町ふれあいの旅			
催行日時	令和7年1月29日(水) ～1月30日(木)	集合時間	10:30
集合場所	東武東上線 小川町駅	体験内容	サイクリング、各種体験
催行事業者	株式会社おいでなせえ	連絡先	090-8289-8163(梅原)
体験難易度	2.5:☆☆☆☆ (Moderate/初級～初中級程度)	走行距離	1日目:約27km(獲得標高340m) 2日目:約10km(獲得標高200m)

CONCEPT | コンセプト

埼玉県比企地域の中でも「オーガニックビレッジ宣言」を行っている埼玉県小川町。約50年前に1人の農家さんがはじめた有機農業の輪が広まり、今では多くの農家が化学肥料や農薬を使わず、自然の力を活かした栽培方法に取り組んでいます。このツアーでは持続可能な農業の普及に取り組む小川町のこだわりや豊かな自然環境を巡りながら、生産者や加工業者、販売者、地域住民との“有機的な繋がり”を楽しむ1泊2日間のツアーです。

HIGHLIGHT | ハイライト

- ① 小川町の有機農業を五感で楽しむ
小川町の有機農業を、生産、加工、消費のすべての場面において、地域の方との交流や体験を通じて体系的に理解でき、ツアー参加された方々の明日への活力へと繋げていきます
- ② 地域独自の豊かな食文化を楽しむ
有機農業を軸に、小川町では多種多様な人たちが、自分たちの個性を如何なく発揮し、独自の暮らしや文化を築いています。そうした個性的な地域の方々と交流を通じて、豊かな食文化を楽しむことができます

プラン 行程	1月29日	10:30	小川町駅集合ツアーイントロダクション	
		11:20	大聖寺(散策&町内一望)	
		11:45	分校カフェMOZART(昼食&分校ツアー)	
		13:00	霜里農場(園場見学&野菜調達)	
		15:00	とうふ工房わたなべ (夕食具材調達&地元スイーツ堪能)	
		16:00	小川宿 鴻倫 宿泊施設チェックイン	
	1月30日	18:00	小川宿 鴻倫にて鍋パーティー	
		09:30	朝食後、出発	
		10:00	仙元山見晴らしの丘公園	
		10:30	和紙すきの村(和紙すき体験)	
		12:00	晴雲酒造(酒蔵見学)	
		13:00	自然処玉井屋(昼食)	
		14:00	小川町内Webマップを使った街歩き (自由散策)	
		15:00	意見交換会のち終了	

※スケジュールは目安です。
天候等により変更になる場合があります

コラム

【比企サイクリングツアーレポートvol.5】オーガニック
ユートピア 五感で感じる小川町ふれあいの旅

2025.02.11 / 最終更新日: 2025.02.11



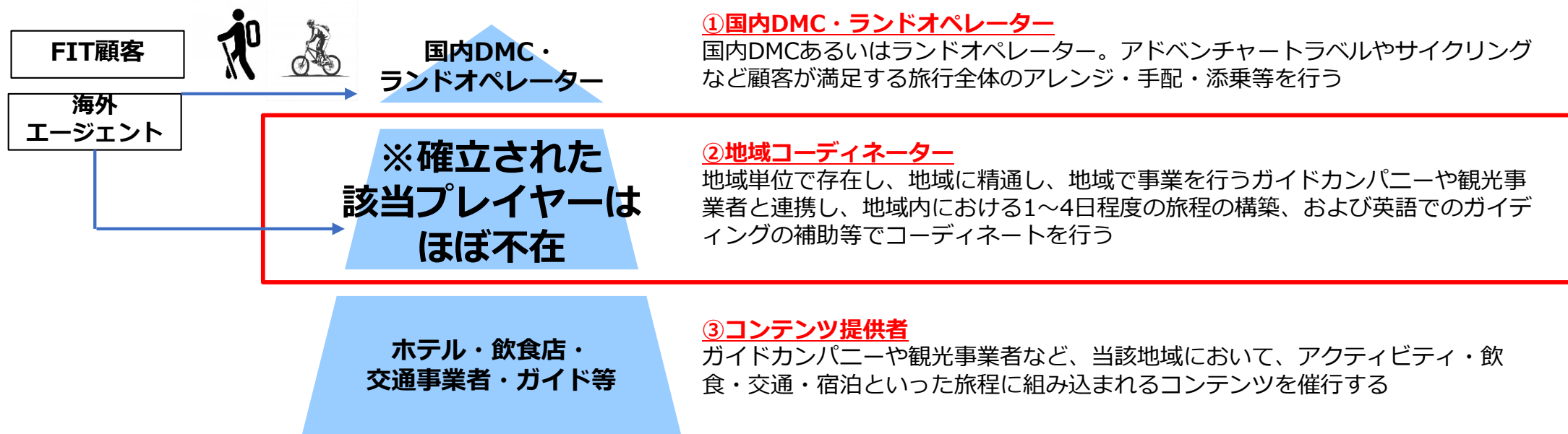
概要	
人数	合計6名 (ツアーリーダー、運営班含まない)
内訳	旅行会社: 3名 スペイン在住地域コーディネーター: 1名 在日外国人ATガイド(アメリカ): 1名 埼玉県庁: 1名
ウェアラブル 数値	データ取得人数: 3名 速度: 平均19km カロリー消費: 435kcal (1日平均) 心拍数: 115bpm

デジタルマップの活用



No,	実施概要	目的	実施効果
1	地域コーディネーターによるWebマップ登録	ツアー時にガイドの補助活用ツールとしてWebマップの製作を行った	地域コーディネーターが登録したことでガイドブックには掲載されていない魅力ある地点の登録に繋がった。また、登録における地点の知識を吸収したことで当日のガイド知識の深化にも繋げることができた。 (※右上は紙での配布に加え、QRコードを準備し、Webマップの活用を行った)
2	ロゲイニングイベントの実施 (自主開催)	ガイドブックでは知りえない地域コーディネーターによる登録スポットを巡り、地域を深く知るイベントを行った	比企地域、近隣地域周辺のサイクリストをターゲットにロゲイニングモニターイベントの実施を行った。ルートを確実にめぐってもらえるストーリー設計、地域コーディネーターのネットワークを活かした登録スポット店などの協力により、サイクルツーリズムを推進する上での機運醸成やデジタルマップの活用方法の土台形成に繋げることができた。

当事業の将来性・地域コーディネーターの必要性



※一部引用： 北海道運輸局「地域をアドベンチャートラベルでデザインするために」「ATで求められるコーディネーターとは」

当事業では地域に深く精通する人材と連携し、コンテンツの磨き上げ、ストーリー設計、ツアー実施を含めたローカルガイドが可能な人材育成を行った。その結果、差別化された地域特有の本質的な体験価値の提供となり、地域資源の全体の底上げに繋がり、断片的ではない地域への経済効果を生み出すことが可能な仕組みづくりに繋げることが出来た。今後「荒川」も含めて、各テーマで繋ぐことで質が高く高単価かつ滞在増加に向けた取り組みに繋げることができる

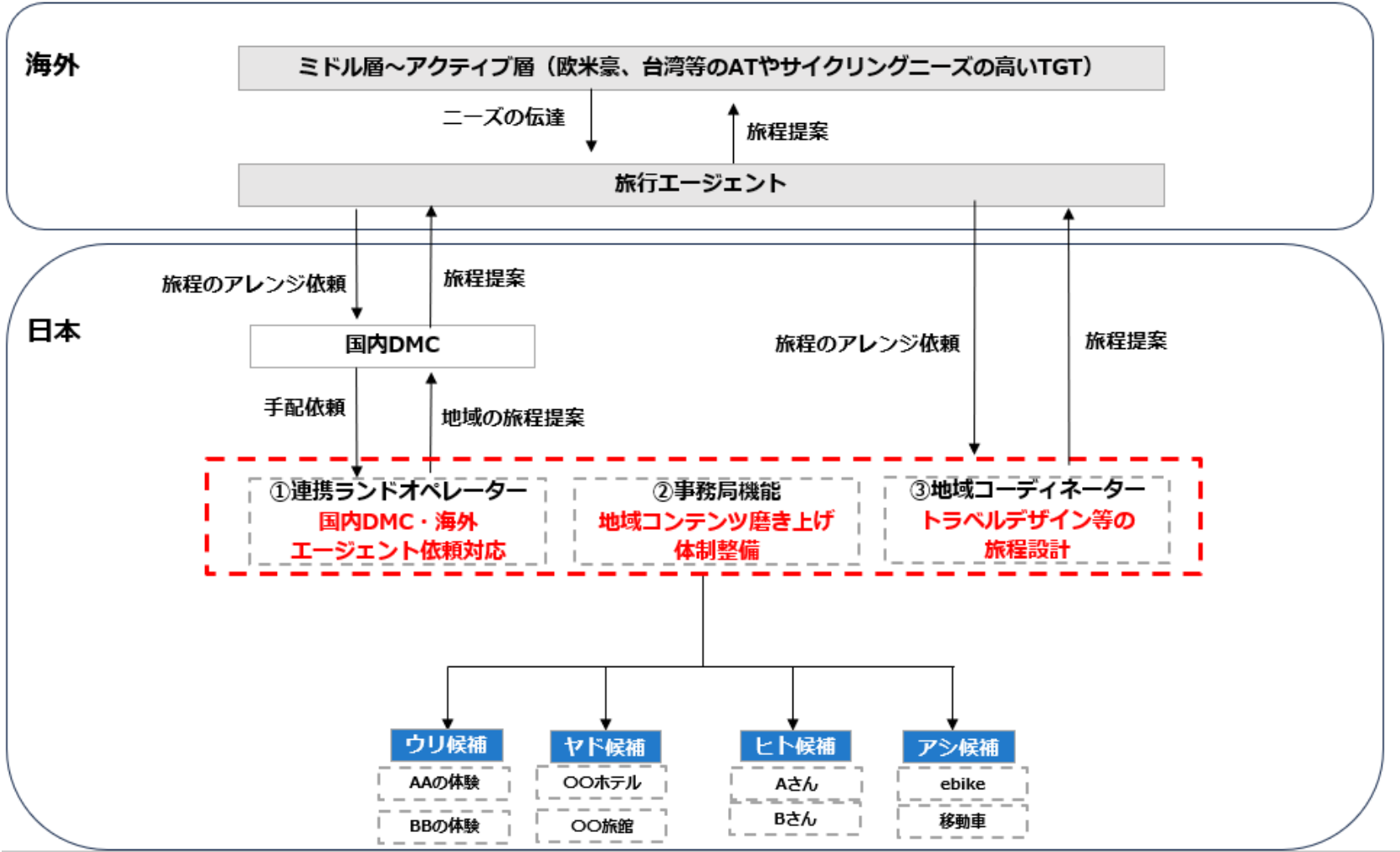
効果検証の結果

項目	実施内容	実施結果	
		成果	課題
運営体制	<ul style="list-style-type: none">旅行会社伴走による地域コーディネーター研修4回実施	<ul style="list-style-type: none">地域コーディネーターの人的ネットワークを活かしたツアー造成の中で普段観光受入のないコンテンツ提供者との関わりを生むきっかけとなり、新たな観光コンテンツを生み出すことができた地域内における旅程の設計、ローカルガイドの育成などオペレーション体制の構築に繋がった	<ul style="list-style-type: none">コーディネーターによりガイド、コーディネーターの得意不得意が分かれるため、地域コーディネーターに求められる資質や選定要件が課題事業プロモーション、エリア全体のコンセプト設計が課題
モニターツアー実施	<ul style="list-style-type: none">モニターツアー計5回実施（商品のブラッシュアップや販売体制構築の為、国内DMCを中心に参加者を招聘）	<ul style="list-style-type: none">各旅行会社の客層に合わせたテーマ性が高い商品造成を行うことができ、全体満足度80%以上を超える結果となったツアーコンセプトに合う国内DMCを招聘したことで、次年度以降の連携構築に繋げることができた（次年度以降の誘客に向け、商談中）ウェアラブル端末（カロリー等）においてツアーごと数値化を行い、レベル別が分かるツアーに繋げるための土台作りに繋がった	<ul style="list-style-type: none">付加価値の高いツアーの一方で関係者が多く、運営コストが高い状況にある。来訪者誘客に向けた国内外における旅行会社とのネットワーキングが必要アンケートの結果、当初のKPIとしていた販売想定価格より下回った為、ツアー全体の磨き上げが必要当事業の拡大、ツアー日数の増加、テーマ深化に向けて秩父や川越といった他地域との連携が必須ウェアラブル活用におけるPR手段の実施検討が必要
販売体制の構築	<ul style="list-style-type: none">海外展示会（ITF2024）への出展JNTOイベントへの参加によるニーズヒアリング	<ul style="list-style-type: none">AT、サイクリングニーズにあっている欧州市場、台湾市場に向けての商材プロモーションを行い、興味を示す海外エージェントとの商談が開始することができた	<ul style="list-style-type: none">地域単独での誘客は現状難しい為、東京や他地域との組み合わせの旅程が求められている。よって国内DMCや他地域との連携による受入体制の拡充は必須
デジタルマップ	<ul style="list-style-type: none">地域コーディネーターの登録によるガイドツール専用マップの製作イベント時に使用可能なロゲイニングマップの製作 ※ ガイドツールとイベント利用の2ページに分けて製作を行った	<ul style="list-style-type: none">参加者誘導時に活用可能なガイドツールとしての機能構築に繋がった地域に精通するコーディネーターがWebマップ登録の為、通常のマップには掲載されていない地点が登録されており、付加価値が高いツールとなっている	<ul style="list-style-type: none">ガイド以外に活用可能な企画および運用コストの検討は必要

次年度以降の取組について

本事業推進に向けて、当事業のコンセプトに合致するランドオペレーターとの連携、プロモーション、他地域連携による事業拡大が必要な状況に加えて、顧客のニーズに応えるさらなるエリアコンセプトの設計が必要な状況にある。

今回の事業で形成したネットワークを維持し、エリア全体の誘客に繋げる運営体制の基盤強化・自走可能なローカルDMCの構築に繋げる。



次年度の自走化に向けた取組案

	1年目（2025年）	2年目（2026年）	3年目（2027年）
	Sales / Branding	Promotion / Training	Customer / Repeter
目的（例）	①荒川ツアー造成 ②海外エージェント向けFAM ③国内外商談会出展	①セールス・プロモーション強化 ②ガイド育成 ③ブランディング	①セールス・プロモーション強化 ②県内DMCの整備 ③事業開発における観光基盤強化
目標KPI（例）	<ul style="list-style-type: none"> 海外エージェント、国内DMCとコーディネーターによる荒川ツアー造成（1本） ATスルーガイドとの連携 海外商談会に1回以上出展 海外エージェント向けFAM1～2回実施 国内外の旅行会社1～2社にてツアー商品化実現（契約マッチング） 	<ul style="list-style-type: none"> ATスルーガイドとの連携 FAMツアー1回以上実施 JNTOと連携した特定市場プロモーション 国内外の商談会に2回以上出展 高付加価値型周遊ツアー×1本造成（県またぎ） 	<ul style="list-style-type: none"> FAMツアー2回以上実施 JNTOと連携した特定市場への重点プロモーション 事業スキーム移行による新企画造成 国内外の商談会に2回以上出展 地域DMCによる販売体制の構築
施策内容（例）	① 地域内のプロジェクトチーム合意形成 ② 県内コンテンツ整理 ③ 地域コーディネーター育成、ツアー造成 ④ 海外エージェント向けFAMツアーの実施 ⑤ プロモーションツール制作	① ATTA研修の実施（ガイド研修） ② FAMツアー実施 ③ モデルツアーの造成 ④ 専門家招聘のうえワークショップ ⑤ 海外商談会やATWS出展 ⑥ 特定市場に向けたプロモーション ⑦ 特定市場のインフルエンサー招聘	① 地域コーディネーターツアー造成およびプロモーション ② FAMツアー実施 ③ 特定市場に向けたプロモーション ④ 特定市場のインフルエンサー招聘 ⑤ 海外商談会やATWS出展 ⑥ 埼玉県DMCの構築